研究活動

啓発センターの 2 階には国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センターが入所し、大規模土砂災害対策研究機構と連携を図りながら土砂災害に関する研究活動を行っている。

啓発センター職員も大規模土砂災害対策技術センターの職員と同じフロア で活動し、指導を受けながら調査研究を行うことで技術力の向上に努め、研 究成果を学会等で発表するとともに学会誌等への論文投稿を実施している。 以下に令和4年度の研究成果の実績を示す。

年月	学会名	題名	著者・共著者
令和4年5月	令和4年度(公社) 砂防学会研究発表 会「宮崎大会」	土砂災害防災ロールプレイン グゲームを用いた教育機関・行	稲田健二、筒井和男、宮﨑徳生、 岸畑明宏、坂口隆紀、西萩一喜、
		クグームを用いた教育機関・行 政機関との連携	
		大規模斜面崩壊時の地盤振動	近水心、水下湯
		特性に関する数値実験及び室	田隆行、谷田佑太、木下篤彦、金
		内実験による比較と検討	澤瑛、中谷洋明
		和歌山県土砂災害啓発センタ	宮崎徳生、有田貴洋、筒井和男、
		ーにおける土砂災害オンライ	岸畑明宏、坂口隆紀、稲田健二、
		ン学習の取り組み	木下篤彦
		土砂災害防災教育の実践とこ	岸畑明宏、森要、坂口隆紀、筒井
		れに対する防災教育受講者の	和男、宮﨑徳生、佐藤純子、木下
		認識に関する分析	篤彦
	令和 4 年度近畿地方整備局研究発表会	マイ・タイムライン防災学習の	稲田健二、坂口隆紀
		実施とその後の学校での取り	
		組み 土砂災害啓発 RPG「命を守る八	 西萩一喜、稲田健二
令和4年6月		工砂火害各来 RPGI inをするハ ザードマップ」の開発	四秋一名、相田性
		サードマック」の開光 お手軽オリジナルハザードマ	 露峰周、筒井和男
		- 00 7 柱グラングルベラー 1 へ - ップ作製アプリの開発	政合で手/ロン、「ロリノーイロブラ
		防災 RPG 「台風にそなえて、じ	 鈴木義幸、筒井和男
		ゅんびをしよう!」の開発	
	(公社)土木学会西	和歌山県日高川町におけるデ	岸畑 明宏、辻原 治、西萩 一喜、
△和 4 左 0 日	部支部「第 11 回土	ジタルコンテンツを用いた土	鈴木 義幸、露峰 周、稲田 健二、
令和4年9月	砂災害に関するシ	砂災害防災教育の取り組み	筒井 和男、有田 貴洋
	ンポジウム」		
令和4年9月	第62回治山研究発	和歌山県公式キャラクターを	有田貴洋、岸畑明宏、筒井和男、
	表会・第 60 回治山	用いた災害伝承碑紹介動画の	稲田健二、森要、佐藤純子
	シンポジウム	作成について	
令和4年12月	砂防と治水	教職員や自治体職員を対象と	和歌山県土砂災害啓発センター
令和5年2月	第 63 回砂防および	した防災教育セミナーの開催 和歌山県における土砂災害に	 岸畑明宏
	地すべり防止講習		▎ ▎ ▎ ▎ ▎
	会	関する防災教育 	
L		<u> </u>	<u> </u>

令和5年2月	消防防災の科学	和歌山県土砂災害啓発センタ	稲田 健二
		_	
		-あの被害を繰り返さないため	
		に-	
令和 5 年 2 月	The 9th International Conference on Flood Management (ICFM9)	Disaster Mitigation Education for reducing sediment disaster impact conducted by the Wakayama Prefectural Government Case Study of Interpolation Method of Missing River Stage of Mountainous Flash Floods Based on Microseismical Monitoring	Satoru Morikawa、 Tadanori Ebisu、 Takaki Sakaguchi、 Akihiro Kishihata、 Kaname Mori Kazuo Tsutsui、 Yuta Tanida、 Akito Nakata、 Gaku Kitamoto、 Osamu Tsujihara、 Soichi Kaihara、 Atsuhiko Kinoshita、 Hiroaki Nakaya
		Network	

令和4年度 和歌山県土砂災害啓発センター年度報 から抜粋